

平成30年度 きょうと農商工連携応援ファンド支援事業<採択事業 8件>

○一次募集（3月1日～4月25日）

No	代表	申請者名	所在地	テーマ名・内容
1	○	前田農園 代表 前田 実	京都 乙訓	◆前田農園監修 ホテル向け朝食サービスおよびリゾート施設向け食事サービス  京都市内の野菜農家と同市内の飲食業者が連携し、野菜のこだわり栽培日記等を綴った「小冊子」を食事に添えた「ホテル向け朝食サービス」及び「リゾート施設向け食事サービス」を開発する。
		(株)マッピーラボ 代表取締役 東元 大喜	京都 乙訓	
2		LUMBER FREAKS 代表 奥口 陽登	丹後	◆丹後の自然の中で、木と土に触れ「食育」「木育」体験  丹後産木材を普及させ放置林を減らすために、木工品の需要を増やそうと「木育」活動をしている林業者と、京丹後市内で有機培養土栽培装置を開発した事業者、自然豊かな、日本海が一望できるロケーションで、地元食材を使った食堂を経営する中小事業者が連携し、丹後を訪れる子育て世代に、「木育」「食育」体験を提供するサービスと商品の開発を行う。
		かなりやファーム 代表 平井 宏明	丹後	
	○	レストこのしろ 代表 山本 ユミ	丹後	
3		かんばやし★清水農場 代表 清水 俊秀	中丹	◆京都グルテンフリー米粉商品開発事業  綾部市内の米農家と同市内の食品加工製造販売業者が連携し、米粉でグルテンフリーの商品（米粉落雁クッキー、米粉鯛焼き）を開発する。
	○	粒々屋 五彩 代表 宮園 尚美	中丹	
4	○	(株)健康ファーム 代表取締役 小田垣 歩	中丹	◆綾部産サツマイモ（紅はるか）を活用したお菓子の開発と販売  綾部市内のサツマイモ農家と同市内の菓子製造業者が連携し、無農薬のサツマイモを活用し、芋羊羹と芋プリンを開発する。
		すまいる工房 代表 川北 正子	中丹	
5	○	(有)京丹後ふるさと農園 代表取締役 森 博子	丹後	◆高機能性桑パウダーを活用した洋菓子開発による京丹後ブランドの確立  京丹後市内の桑茶生産農家と同市内の農産物生産加工販売業者が連携し、高機能性桑茶を使用した京丹後ブランドの洋菓子スイーツ（桑茶ソフトクリーム、桑茶フィナンシェ等）を開発する。
		京都(株) 代表取締役 福本 正馬	丹後	
6	○	てんとうむし畑のオーガニックおやさい 梅本農場 代表 梅本 修	丹後	◆子育てママを応援、有機野菜を使ったケーキ・スープの加工品開発  京丹後市の有機野菜農家と宮津市の食品製造業者が連携し、四季折々の有機野菜のポタージュスープと食事代わりになる有機野菜をたっぷり使ったスイーツ（ケーキサレ）を開発する。
		ビオ・ラビット 代表 対馬 則昭	丹後	

○二次募集（7月2日～8月22日）

No	代表	申請者名	所在地	テーマ名・内容
1		株式会社フルーツガーリック 代表取締役 早川 雅映	丹後	◆京丹後の特産フルーツとフルーツガーリックを使った健康スイーツの開発  京丹後市のにんにく生産農家と京都市内の洋菓子製造業者が連携し、にんにくを材料とするフルーツガーリックを利用して、小麦粉・卵・乳製品不使用のアレルギーマッチのスイーツを開発する。
	○	むしやしない 代表 佐藤 友紀子	京都 乙訓	
2		石割 照久	京都 乙訓	◆京都産ブランド米で作る食品原料の開発と最適な原料米品種の探索  麴糖化技術を活用した米麴ビュールを製造・販売している酒造会社と、修学院離宮周辺の棚田で水稻を生産する農業者が連携し、パンや和菓子などの用途別の米麴ビュールを開発する。
	○	佐々木酒造株式会社 代表取締役 佐々木 晃	京都 乙訓	